

指導者（保護者）として大切にしたいこと（その47）
～「コーチ、あのね。～したらダメはダメだよ！」～

2023年7月吉日
U12部会広島地区
SV 大庭 浩資

広島県バスケットボール協会U12部会広島地区の保護者の皆様、指導者の皆様、役員の皆様、いつもお世話になっております。

また6月3日から始まり、先日6月25日に終了した『第43回 広島県ミニバスケットボール大会 広島地区予選』では、長い期間に渡り大変お世話になりました。

地区大会で勝ち上がった女子『五日市観音』『口田』『美鈴が丘』『南観音』『神崎』『宮園』『井口』『庚午』、男子『五日市観音』『三篠』『五日市』『古田』『千田』『口田』『東浄』『井口』の広島県大会での健闘を祈念いたします。

さて今回のコラムのテーマは、『～したらダメはダメ！』としました。

否定的な言葉よりも、肯定的な言葉かけの方が、選手のやる気を引き出すという事は、現代のコーチングでは当たり前のように言われていますね。

インテグリティ精神からもとても大切だと思います。

以下は、私が指導するチームのある日の練習での一コマです。

試合形式の練習中、選手の一人が、パスを受けた後、周りを見ずにすぐにドリブルをして、ディフェンスに挟まれて困り、相手チームにパスをするプレイがありました。

それが何度か続いたため、私が「すぐにドリブルしたらダメ！」と言いました。

もちろん、なぜすぐにドリブルをしたらいけないかは、これまで何度も説明していました。

その後、私が「どう言えば、伝わるのかな？」とつぶやいたその時、近くにいた他の部員が、「大庭コーチ、あのね。大庭コーチは、～したらダメが多すぎるんだよ。～したらダメって言われると、やる気が出ないよ。お母さんが言ってたけど、～したらダメって言うより、～したらいいよって言う方がやる気が出るんだって」。

それを聞いた私は、それはそうだと思います「では今のプレイに対してはどう言えばいいの？」と聞いてみました。

するとその選手は、「それはね。ドリブルをする前に、周りをしっかり見ようと言えばいいんだよ」。

それはいつも言ってるじゃんと思いつつ（・・・笑い）も、なるほどと頷きながら「では、狭い所に入ったらダメは何と言うの？」と聞いてみると「それはね。狭い所にいてもパスがもらえないから、広い所に動こうと言えばいいんだよ」。

さらに、「では、あわててシュートをする選手に焦ってダメは何と言うの？」
「それはね、落ち着いて、しっかりゴールを狙ってシュートをしようと言え
ばいいんだよ」。

話を聞くのが面白くなった私は、さらに「では、ディフェンスを恐れて逃
げる選手に逃げたらダメは何と言うの？」

「それはね、相手を恐れず、勇気をもってドリブルしようと言え
ばいいんだよ」。

その後も、いくつか質問しましたが、それぞれの問いに対して、とても微笑
ましい答えが返ってきました。

そしてその言葉はすべて、「～しよう」となっていました。

もちろん、部員が話してくれたことは、これまでの指導の中で何度も説明をし
ていますし、バスケットボールの速い動きの中で、意図することを長々と伝える
ことは不可能です。

また「～しない」が、すべて間違った言葉かけとは思いません。

確かに「肯定的な言葉かけ」は大切だとは思いますが、ただ、それは一つの
手立てであり、すべてではないと思うのです。

例えば、小学校で行われる避難訓練の合言葉である

㊦ おさない ㊧ はしらない ㊨ シャべらない ㊩ もどらない

はすべて大切なことで、「～しない」となっています。

要は、それぞれのチームや選手の実態に合った言葉かけが大切だという事
でしょう。

ただ少なくとも、自分のチームの選手にとって、これまでの練習の様子を思
い出してみても、「～はダメ」は全く効果がないことが分かりました。

と同時に、いかに児童理解（選手理解）ができていないかを実感し、今更な
がら本当に恥ずかしく、また部員に対して申し訳なく思いました。

今、インテグリティ精神の遵守がとても大切だと言われます。

U12 カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレイ
できる環境をつくるための「指導行動の指針」が以下のように示されています。

<指導者にやってほしいこと>

- ・はげます
- ・元気づける
- ・委ねる
- ・引きだす
- ・導く
- ・判断させる
- ・主体性を育てる

<指導者にやってほしくないこと>

- ・怒る
- ・怒鳴りつける
- ・指示ばかりする
- ・威圧する
- ・判断させない
- ・支配する

私が言った「ダメ」は、部員にとっては<やってほしくないこと>に当てはま
り、部員が言った言葉は<やってほしいこと>に該当するでしょう。

改めて選手にとってやる気が出る言葉、それも一瞬で伝えられる言葉とはど
んなものかを研究する必要があるようです。

歳ばかりとって、まだまだ指導者としては未熟で修行が足りないということ
を気付かせてくれた部員に、感謝感謝です。